

令和 4 年度 指定管理者点検結果

施 設 名	玉野市農林水産振興センター
所 在 地	玉野市田井 2 丁目 4464 番地
指 定 管 理 者	名 称 有限会社みどりの館みやま 代表者 代表取締役 市倉 勇樹 住 所 玉野市田井 2 丁目 4464 番地
指 定 期 間	平成 31 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日（5 年間）
担 当 部 課	産業振興部農林水産課 電 話 0863-32-5561 E-mail nourinsuisan@city.tamano.lg.jp

評 価 内 容 の 総 括	総 合 評 価
指定管理者として適切に施設を管理しており、また、ここ数年、経営は好調を維持し、特に令和 4 年度は、総売上額が過去最高を更新している。経常利益は昨年度を下回ったものの、経営状況は優良と評価する。 事業内容としては、農産物直販施設及び特産品展示販売施設は、地元農産物等の販売拠点として地域経済の向上や安定的な商品を提供しており、パン工房(令和元年10月販売開始)は玉野産朝日米の米粉を使用した食パンやメロンパンを商品に加えるなど新商品の開発にも取り組み、売上増加に大きく貢献している。令和 4 年度は、農産物直販、特産品販売、パン工房ともに売上額及び来客者数ともに増加している。	S

■「総合評価」の評価基準

- S（優 良） 次の 3 項目の評価結果が全て A 以上であり、かつ S が 2 つ以上である。
- A（良 好） 次の 3 項目の評価結果が全て A 以上である。
- B（課題含） 次の 3 項目の評価結果に B が含まれている。
- C（要改善） 次の 3 項目の評価結果に C が含まれている。

① 業 務 の 実 施 状 況	評 価 結 果
【適切な施設管理の履行】 各種手続き、書類の整備がなされており良好な状態である。 【法令等の遵守】 各種手続き、書類の整備がなされており良好な状態である。 【安全性の確保】 施設の修繕や、防犯カメラ増設や夜間警備による警備強化が図られるなど、利用者の安全確保は良好である。 【財産の適切な管理】 施設及び備品等の適切な管理がなされており良好な状態である。 【利用状況】 農産物直販所、特産品展示直売所、パン工房ともに来客数は増加しており利用状況は良好で、消費者にとって魅力的な施設となっている。 （来客数） 令和4年度 農産物 288 千人、特産品 111 千人、パン工房 78 千人 令和3年度 農産物 286 千人、特産品 107 千人、パン工房 75 千人 【コスト削減への方策】 人事評価制度の導入や従業員教育により、従業員の働き方を指導することでコスト削減に取り組まれている。	A
② サ ー ビ ス 向 上 へ の 取 り 組 み	評 価 結 果
歩行者用通路屋根を延ばし施設のバリアフリー化や、従業員教育により接客マナー向上に努めるなど、ハード面及びソフト面でサービス向上に取り組んでいる。	S
③ 団 体 の 経 営 状 態 （ 経 営 の 健 全 性 ）	評 価 結 果
ここ数年、総売上額は前年度を上回り、経常利益も黒字を維持している。令和4年度は、原材料費高騰の影響などもあり、経常利益は昨年度を下回ったが、総売上額は過去最高を更新しており、経営状況は優良と評価する。	S

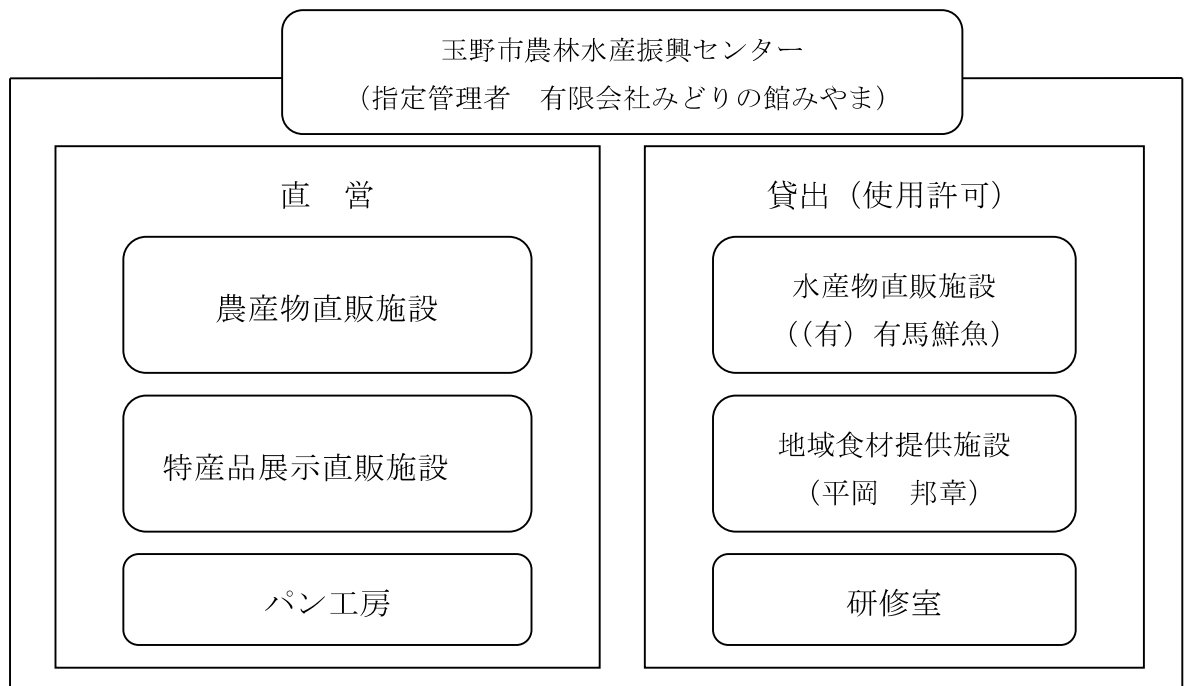
■ 「評価結果」の評価基準

- S（優 良） 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。
- A（良 好） 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。
- B（課題含） 協定書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C（要改善） 協定書等の基準が遵守されておらず、改善が必要な内容である。

I 業務の実施状況に関する事項

1 管理体制の状況

(1) 指定管理業務の実施体制図（外部委託先を含む）



(2) 人員配置状況

職 種	勤務形態	人数	備 考
支配人	常勤職員	1	取締役
農産物直販施設	常勤職員	3	
	パート	12	
特産品展示直売施設	常勤職員	1	
	パート	4	
パン工房	常勤職員	2	
	パート	8	
営農指導	常勤職員	1	
清掃部	パート	6	
計		38	

2 施設・設備の維持管理業務の実施状況

・建物・設備の保守管理業務

施錠解錠の日常管理の他、老朽化部分の小修繕を実施

・清掃業務

直営施設は社員による清掃を実施し、使用を許可している施設は使用者が清掃を実施

・警備業務

夜間・休日の警備を警備会社に委託して実施している。

3 利用等の許可の状況

水産物直販施設	鮮魚販売者に対して単年度の使用を許可
地域食材提供施設	利用希望者に対して単年度の使用を許可
研修室	研修室利用希望者に対して随時使用を許可

II 施設の利用状況に関する事項

1 施設・設備の利用状況

水産物直販施設	使用許可	1 件（（有）有馬鮮魚）
地域食材提供施設	使用許可	1 件（平岡 邦章）
研修室	使用許可	38 件（農業者団体、視察対応、市農林水産課他）

III 自主企画事業の実施に関する事項（協定書に追加した事項等）

1 イベント名、内容、参加者数、収支状況 等

栽培講習会（野菜・花・果樹） 10 回開催 参加者のべ 220 人

IV 料金収入の実績及び管理経費等の収支状況等

1 利用料金の収入及び減免の状況

（1）利用料金の収入総額、各施設、設備ごとの収入額 等

研修室使用料	26,500 円
水産物直販施設	4,800,000 円（400,000 円×12 月）
地域食材提供施設	2,640,000 円（220,000 円×12 月）

（2）減免の総額、各施設・設備ごとの内訳、減免理由 等

研修室使用料	77,000 円（自主事業、玉野市の公共使用等のため）
--------	-----------------------------

2 管理に係る収支の状況

別途添付の経営状況説明書のとおり

V 自己点検結果

施設利用者や、農産物直販施設の出荷登録農家への聞き取りを行うほか、関係機関からの意見聴取など、幅広く改善意見等の把握に努めている。

VI 経費節減・サービス向上に関する取組み

高騰する電気代の消費節減に努めた。従業員の接客マナー向上に努めた。

VII その他

第 25 期

経 営 状 況 説 明 書

—— 内 容 ——

1. 令和 4 年度決算の状況
2. 令和 5 年度事業計画の概要

有限会社みどりの館みやま

令和 4 年度

決 算 の 状 況

目 次

I .	令和 4 年度 事業報告書	-----	3
II .	令和 4 年度 決 算 書		
(1)	貸 借 対 照 表	-----	5
(2)	損 益 計 算 書	-----	6
(3)	販売費及び一般管理費	-----	7
(4)	製 造 原 価 報 告 書	-----	8
(5)	監 査 報 告 書	-----	9

I. 令和4年度事業報告書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

1 事業実施状況

令和4年度は、昨年から続く新型コロナウイルスの影響を受けほとんどのイベントが中止になったが、栽培講習会は人数制限をして再開し、農業に有益な情報を提供する機会が復活した。店舗は、人流が戻ってきた秋口以降、県外からの旅行者も増え、特に3月は来店客数が大きく増加した。その反面、電気代を筆頭に様々な原料高騰の影響を受け、営業利益は大きく減少した。

また、9月にはキッチンカー販売スペースを店舗前に整備して、出店者を募集したところ、週末は市内外から複数の店舗が集まり、新たな賑わいを創出しており、駅前マルシェとの相乗効果で道の駅みやま公園の魅力向上に繋がっている。

令和4年度の総売上額は、515,252千円(対前年度比+22,873千円、104.6%)で、昨年度に続き売上増となり、総売上高も初めて5億円を突破し過去最高を更新した。当期は2,765千円の営業黒字を計上し、経常利益は3,006千円となった。

(1) 農産物直販施設

近年は活発な新規登録者が多く、野菜の入荷量は順調に増えている。高齢による退会者も多いが、新たな出荷者21人が登録し、登録者総数は1人増となった。

売 上 額：343,509千円 (対前年度比 10,896千円 103.3%)

来 客 数：288,694人 (対前年度比 2,415人 100.8%)

登録者数： 409人 (対前年度比 1人 100.2%)

(2) 特産品展示直売施設

新規登録者9名のうち、弁当販売業者が4名おり、特産品売場の魅力向上と売上増加に貢献した。なお、手芸品の新規販売希望者は変わらず多いが、売場面積に限りがあるため、現在は新規登録をお断りしている。

売 上 額：115,746千円 (対前年度比 8,585千円、108.0%)

来 客 数：111,158人 (対前年度比 3,279人、103.0%)

登録者数： 96人 (対前年度比 5人、105.5%)

(3) パン工房

玉野産米粉を使ったオリジナルパンが好調で、客単価が向上して利益率も大きく上昇したことで、安定した運営が出来ている。但し、原材料と電気代の高騰は、確実に収益に影響を与えている。

売 上 額：55,996千円 (対前年度比 3,392千円、106.4%)

来 客 数：78,731人 (対前年度比 2,980人、103.9%)

(4) 研修室

生産者の栽培技術や知識向上のため、野菜・花・果樹等の栽培講習会を、備前広域農業普及指導センター等の協力により10回開催した。講習会は、新型コロナウイルスに配慮し、人数制限をして1日2回開催したこともあったが、のべ220人が参加した。

【参 考】

(1) 水産物直販施設

令和4年度は、アフターコロナの集客により売上を大きく伸ばした。

新鮮な瀬戸内の鮮魚を調理するサービスや、その場で焼きたてを提供する“名物焼きアナゴ”が手軽に購入できると好評である。

売 上 額：177,776 千円 （対前年度比 13,468 千円、108.2%）

(2) 地域食材提供施設

道の駅への来客数増を受け、利用者数が増えたことで、売上も大幅に増加した。

売 上 額：47,533 千円 （対前年度比 5,581 千円、113.3%）

来 客 数：21,345 人 （対前年度比 3,307 人、118.3%）

2 役員に関する事項

(令和5年3月31日現在)

就任年月日	役員名	氏 名	備 考
R 4. 5. 25	代表取締役	市 倉 勇 樹	
H19. 7. 13	取 締 役	岡 本 英 俊	
H28. 9. 1	取 締 役	金 川 洋 一	支配人
H23. 6. 1	監 査 役	谷 貢	
R 4. 5. 25	監 査 役	池 上 茂	

3 法人登記に関する事項

代表取締役 変更、監査役 1名変更

4 職員に関する事項

(令和5年3月31日現在)

職 種	勤務形態	人数	備 考
支配人	常勤職員	1	取締役
農産物直販施設	常勤職員	3	
	パート	12	
特産品展示直売施設	常勤職員	1	
	パート	4	
パン工房	常勤職員	2	
	パート	8	
営農指導	常勤職員	1	
清掃部	パート	6	トイレ等清掃
計		38	

Ⅱ．令和4年度決算書

(1) 貸借対照表

令和5年3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
【流 動 資 産】	【 97,746,295 】	【流 動 負 債】	【 44,293,226 】
現金及び預金	83,335,753	買 掛 金	2,675,886
売 掛 金	4,492,100	未 払 金	23,621,860
商 品	1,287,635	預 り 金	14,589,080
原 材 料	1,896,246	法人税等充当金	3,301,400
貯 蔵 品	4,426,550	商 品 券	34,000
立 替 金	0	未 払 法 人 税 等	71,000
未 収 入 金	2,299,711		
仮 払 金	8,300	【固 定 負 債】	【 1,500,000 】
【固 定 資 産】	【 60,654,043 】	退職給与引当金	1,500,000
(有形固定資産)	(58,010,709)		
建 物	20,542,958	負債の部合計	45,793,226
建物付属設備	31,861,976	純 資 産 の 部	
構 築 物	282,479		
車両運搬具	528,871	【株 主 資 本】	【 112,607,112 】
設備造作	0	(資 本 金)	(3,000,000)
工具器具備品	4,794,425	資 本 金	3,000,000
(無形固定資産)	(1,283,334)		
ソフトウェア	1,283,334	(利益剰余金)	(109,607,112)
(投資その他の資産)	(1,360,000)	利 益 準 備 金	1,500,000
出 資 金	60,000	別 途 積 立 金	18,700,000
保 証 金	1,300,000	施設整備積立金	34,500,000
		繰越利益剰余金	54,907,112
		純資産の部合計	112,607,112
資産の部合計	158,400,338	負債及び純資産の部合計	158,400,338

(2) 損益計算書

自 令和4年 4月 1日
至 令和5年 3月31日

科 目	金 額	
(経常損益の部)		円
(営業損益の部)		
【純売上高】		
商品売上高	116,740,660	
売上高（パン工房）	52,314,522	
販売委託料	50,114,398	
販売手数料	3,683,734	
受取管理料	6,763,644	
登録・会費収入	1,050,923	230,667,881
【売上原価】		
期首棚卸高	1,299,862	
商品仕入高	80,521,096	
当期製品製造原価	51,618,294	
合 計	(133,439,252)	
期 末 棚 卸 額	1,287,635	132,151,617
売 上 総 利 益		(98,516,264)
【販売費及び一般管理費】		95,751,601
営 業 利 益		(2,764,663)
(営業外損益の部)		
【営業外収益】		
受 取 利 息	215	
道の駅清掃委託金	2,096,000	
急速充電器管理委託料	360,000	
雑 収 入	1,902,772	4,358,987
【営業外費用】		
営業外収入関係費用	4,096,651	
雑 損 失	21,005	4,117,656
経 常 利 益		(3,005,994)
税引前当期純利益		(3,005,994)
法 人 税 等		71,000
当 期 純 利 益		(2,934,994)

(3) 販売費及び一般管理費

自 令和4年 4月 1日
至 令和5年 3月31日

科 目	金 額	
役 員 報 酬	58,500	円
給 料 手 当	35,661,992	
賞 与	10,155,250	
雑 給	396,362	
支 払 報 酬 料	1,462,000	
法 定 福 利 費	5,623,141	
厚 生 費	1,270,253	
減 価 償 却 費	8,555,780	
賃 借 料	2,864	
修 繕 費	3,038,350	
事 務 用 品 費	265,913	
消 耗 品 費	4,901,930	
水 道 光 熱 費	4,967,328	
旅 費 交 通 費	22,343	
支 払 手 数 料	1,185,527	
租 税 公 課	236,422	
交 際 接 待 費	0	
保 險 料	457,200	
通 信 費	431,741	
諸 会 費	86,225	
広 告 宣 伝 費	667,158	
新 聞 図 書 費	93,002	
荷 造 運 賃	341,171	
会 議 費	0	
清 掃 委 託 費	603,690	
車 輦 費	141,931	
研 修 会 費	94,589	
管 理 諸 費	1,888,150	
雑 費	74,110	
リ ー ス 料	4,466,800	
備 品 費	3,147,327	
地 代 家 賃	5,454,552	
合 計	(95,751,601)	

(4)製造原価報告書

自 令和4年 4月 1日
至 令和5年 3月31日

科 目	金 額	
		円
【材 料 費】		
期首原材料棚卸高	1,495,565	
原 材 料 仕 入 高	22,930,053	
小 計	(24,425,618)	
期末原材料棚卸高	1,896,246	22,529,372
【労 務 費】		
賃 金	14,389,636	
賞 与	2,846,250	
法 定 福 利 費	2,081,865	
厚 生 費	445,791	19,763,542
【製 造 経 費】		
水 道 光 熱 費	1,580,514	
消 耗 品 費	2,141,922	
旅 費 交 通 費	1,682	
減 価 償 却 費	639,900	
修 繕 費	436,300	
車 両 費	0	
保 險 料	120,256	
備 品 費	10,349	
事 務 用 品 費	5,280	
リ ー ス 料	3,704,400	
管 理 諸 費	307,980	
諸 会 費	361,375	
広 告 宣 伝 費	90	
マ リ ン pay 費用	15,332	9,325,380
総 製 造 費 用		(51,618,294)
当期製品製造原価		(51,618,294)

監 査 報 告 書

令和 5 年 5 月 15 日

有限会社みどりの館みやま
代表取締役 市倉 勇樹 殿

監査役 谷 貢

..... 池上 茂

令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日までの、第 25 期営業年度における取締役の職務執行を監査するため、取締役会及びその他の重要な会議に出席するほか、取締役等から営業の報告を聞き、重要な決裁書類等を閲覧し、実査、立会、照合を行い、会計帳簿等につき検討を加えた結果、次のとおり報告する。

1. 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、貸借対照表及び損益計算書の記載と合致していることを認める。
2. 貸借対照表及び損益計算書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認める。
3. 事業報告の内容は、真実であると認める。
4. 取締役の業務遂行に関する不正の行為、または法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。

以上

令和 5 年度

事業計画の概要

目 次

I.	令和 5 年度 事業計画書	12
II.	令和 5 年度 予 算 書	13
	(1)販売費及び一般管理費内訳	14
	(2)製造原価報告書内訳	15
(参考)	売 上 高 の 推 移	16

I. 令和5年度事業計画書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に分類される事が影響して、春先からの動向を見ても、様々な物事が大きく変化しているのを感じ取れる。

昨年度計画した栽培履歴票の管理システムが正式稼働し、4月からは毎月5件の残留農薬自主検査を開始し、1年間継続する。生産者の技術向上や農薬に対する意識改革を促すと共に、消費者に安全安心な農産物を販売している直売所をアピールしていく年にしたい。

平成26年度に公募を行い直営からテナント委託となったレストランは、5年契約の終了時に再公募する予定だったが、弊社の経営立て直し期間と重複した為、数年に渡り延期となっていた。来年度から始まる5年間の指定管理期間に合わせて、道の駅全体の魅力向上に繋がるような事業者を今期中に公募選定する計画である。

1. 農産物直販施設

販売登録者は実質稼働者数が増加して、農産物の入荷数量は維持できそうである。今年は10月からインボイス制度も始まるため、システム改修や生産者への周知徹底が必要となる。4月開始の農薬使用履歴票提出など、品質向上を念頭に置いて、例年通り出荷者・消費者双方に魅力的なサービスを提供する農産物直売所を目指す。

市場からの商品は、岡山県産にこだわった仕入を行っており、一部の登録者が出荷をしていた県外産の農産物は、今年度から全面禁止とする。

2. 特産品展示販売施設

玉野市内の事業者や玉野市産特産品のPRを積極的に行い、登録者には直売所との連絡通路の展示販売スペースを無償で提供して、商品の周知や賑わいを創出する。

3. パン工房

焼きたてパンのテイクアウトはお客様の支持を集めており、玉野産米粉を使った新商品を今年も続々と投入していく。人件費に加えて原材料と電気料金の高騰が、店舗運営に大きく影響する年になりそうである。

4. 研修室

昨年度は人数制限をしながら10回開催した栽培管理講習会を、今年度は9回の開催を予定している。デイサービスの利用が中止となり、稼働率が激減しているので、空きがあれば誰でも利用可能な施設だと周知していく。老朽化が顕著だった長机は、中古美品を購入したが、空調設備や照明器具は更新の目処が立っていない。

【参考】

・水産物直販施設

名物の“焼きアナゴ”を中心に、地物の新鮮で安価な魚介類や、その加工品の提供とともに、より一層親しみやすい売り場にする。暫く大幅な改装を行っていない売場なので、店内の老朽化が目立つ。営業に影響が少ない工事手法を探す必要がある。

・地域食材提供施設

施設使用者には、ここでしか味わえない料理の提供を求める。

Ⅱ．令和5年度予算書

自 令和5年 4月 1日
至 令和6年 3月31日

科 目	予算額	前年度予算額
(経 常 損 益 の 部)		千円
(営 業 損 益 の 部)		
【純 売 上 高】	(231,860)	(228,410)
商 品 売 上 高	118,000	118,000
売上高 (パン工房)	52,500	52,000
販 売 委 託 料	50,000	47,000
販 売 手 数 料	3,600	3,500
受 取 管 理 料	6,760	6,760
登 録 ・ 会 費 収 入	1,000	1,150
【売 上 原 価】	(133,440)	(131,970)
期 首 棚 卸 高	1,287	1,299
商 品 仕 入 高	81,000	82,000
製 品 製 造 原 価	52,440	49,970
合 計	134,727	133,269
期 末 棚 卸 額	1,287	1,299
売上総利益	98,420	96,440
【販売費及び一般管理費】	97,135	92,745
営業利益	1,285	3,695
(営 業 外 損 益 の 部)		
【営 業 外 収 益】	(5,086)	(4,165)
受 取 利 息	0	0
道の駅清掃委託金	2,305	2,305
急速充電器管理委託料	1,281	360
雑 収 入	1,500	1,500
【営 業 外 費 用】	(5,200)	(4,000)
営業外収入関係費用	5,200	4,000
営業外損益	-114	165
経常利益	1,171	3,860

(1) 販売費及び一般管理費内訳

単位：千円

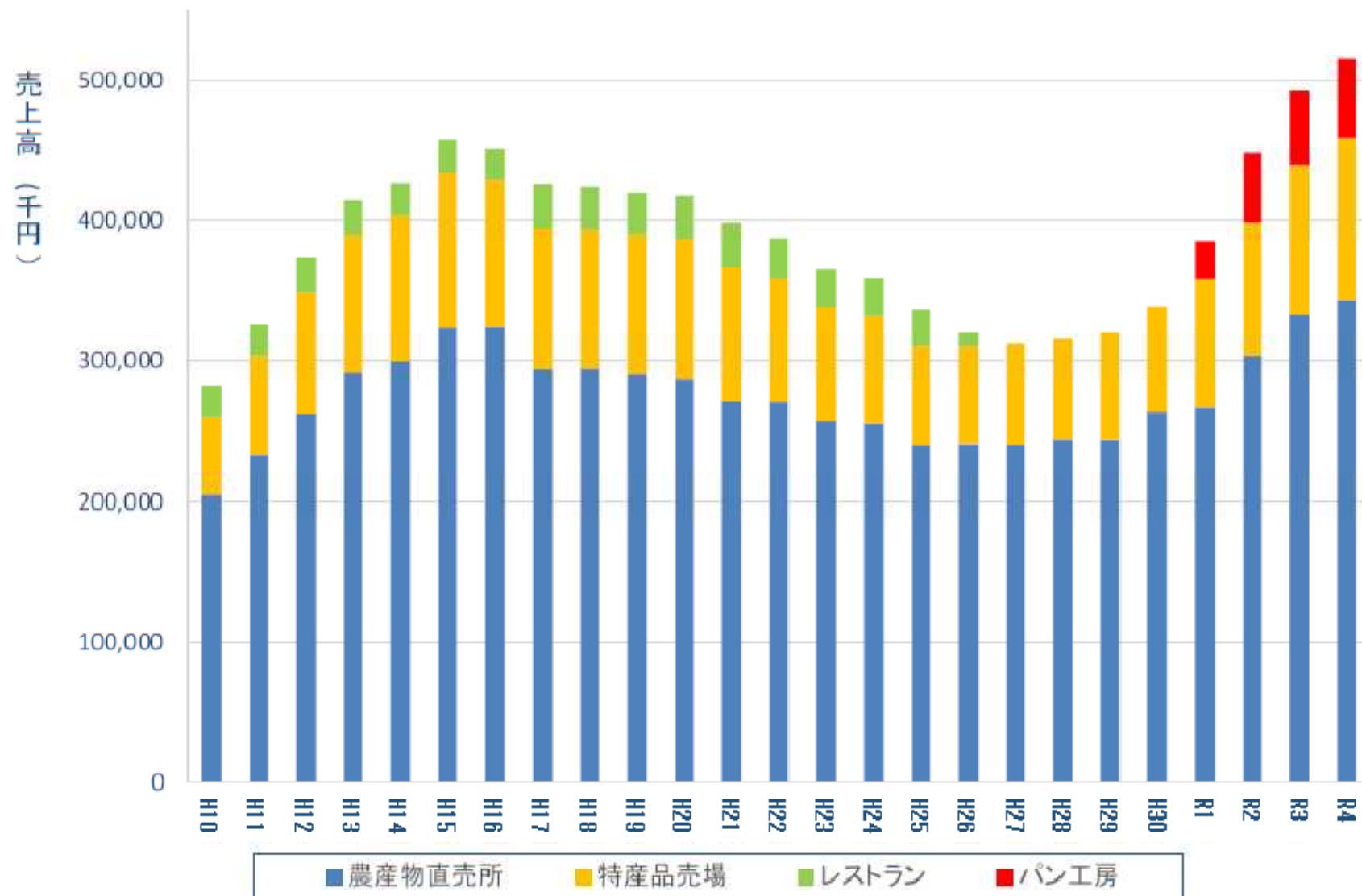
科 目	予 算 額	前年度予算額
役員報酬	50	50
給料手当	37,000	38,000
賞与	10,000	8,000
雑給	100	100
支払報酬料	1,600	1,800
法定福利費	5,600	5,200
厚生費	1,500	1,500
減価償却費	8,500	8,320
賃借料	50	50
修繕費	2,000	2,000
事務用品費	400	400
消耗品費	5,000	4,500
水道光熱費	6,000	4,000
旅費交通費	200	200
支払手数料	1,000	1,000
租税公課	250	250
交際接待費	30	30
保険料	500	360
通信費	500	330
諸会費	200	200
広告宣伝費	500	300
新聞図書費	90	90
荷造運賃	400	400
会議費	15	15
清掃委託費	1,000	1,000
車輛費	300	300
研修会費	300	300
管理諸費	3,000	2,000
雑費	100	100
リース料	4,500	5,500
備品費	1,000	1,000
地代家賃	5,450	5,450
合 計	97,135	92,745

※科目間の流用を認める

(2) 製造原価報告書内訳

科 目	予算額	前年度予算額
		千円
【材 料 費】	(23,000)	(22,500)
期首原材料棚卸高	1,839	1,495
原 材 料 仕 入 高	23,000	22,500
小 計	24,839	23,995
期末原材料棚卸高	1,839	1,495
【労 務 費】	(19,150)	(17,800)
賃 金	14,500	13,500
賞 与	2,000	2,000
法 定 福 利 費	2,200	2,000
厚 生 費	450	300
【製 造 経 費】	(10,290)	(9,670)
水 道 光 熱 費	2,600	1,400
消 耗 品 費	1,800	1,800
旅 費 交 通 費	50	50
減 価 償 却 費	600	600
修 繕 費	200	200
車 両 費	10	10
保 険 料	120	100
研 修 会 費	50	50
備 品 費	300	600
事 務 用 品 費	50	50
リ ー ス 料	3,700	4,000
管 理 諸 費	300	300
諸 会 費	360	360
広 告 宣 伝 費	50	50
マ リ ン pay 費用	100	100
合 計	52,440	49,970

売上高の推移



【書式例 5-4】

令和 4 年度 指定管理者自己点検結果

点 検 日	令和 5 年 3 月 1 日 (2 回目)
施 設 名	玉野市農林水産振興センター
所 在 地	玉野市田井 2 丁目 4 4 6 4 番地
指 定 管 理 者	名 称 有限会社みどりの館みやま 代表者 代表取締役 市倉 勇樹 住 所 玉野市田井 2 丁目 4 4 6 4 番地
指 定 期 間	平成 3 1 年 4 月 1 日 ~ 令和 6 年 3 月 3 1 日 (5 年間)
担 当	電 話 0 8 6 3 - 3 2 - 0 1 1 5 E-mail miyama@m-y.jp

評 価 内 容 の 総 括	総 合 評 価
昨年度に続き売上高・来客数共に増加し、過去最高を更新した。アフターコロナの集客も上々で、安定した運営が出来ている。 【前回の自己点検からの改善点】 施設の老朽化が進む中、柔軟に小修繕を行い、利用者やテナント営業の妨げにならないよう注意している。	A

■「総合評価」の評価基準

- S（優 良） 次の 3 項目の評価結果が全て A 以上であり、かつ S が 2 つ以上である。
- A（良 好） 次の 3 項目の評価結果が全て A 以上である。
- B（課題含） 次の 3 項目の評価結果に B が含まれている。
- C（要改善） 次の 3 項目の評価結果に C が含まれている。

① 業 務 の 実 施 状 況	評 価 結 果
-----------------	---------

【適切な施設管理の履行】 規定に基づく施設管理を行い、施設内の整理整頓や清掃に重点を置いた。 【法令等の遵守】 必要な許可の取得や免許の更新見直しを行い、法令遵守に努めた。 【安全性の確保】 施設内の定期的な巡回を行い、消火器等の保守点検をし、必要に応じた小修繕を行った。24時間防犯カメラを充実させて、万引き防止に努め施設内の警備を強化し、トラブル防止に役立てた。玉野警察署と連携し、犯罪撲滅に努めた。 【財産の適切な管理】 老朽化した施設内備品は更新し、適切な使用や保守管理を行った。 【利用状況】 アフターコロナの需要取り込みをスムーズに行い、利用者が増えた。 【コスト削減への方策】 業務の効率化を図り人事評価制度を活用することで、昇級や賞与の見える化を図り、従業員の働き方に対する考え方を個別に指導した。	A
② サービス向上への取り組み	評価結果
農産物直売所の出荷者を増やすことで、入荷量が増加し、施設全体の魅力向上に務めた。 【前回の自己点検からの改善点】 コストは増加するがレジ袋の無償提供を継続実施している。	A
③ 団体の経営状態（経営の健全性）	評価結果
過去最高となる来客と売上高の大幅増加により、内部留保は増え経営状況は安定した。	S

■「評価結果」の評価基準

- S（優良） 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。
- A（良好） 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。
- B（課題含） 協定書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C（要改善） 協定書等の基準が遵守されておらず、改善が必要な内容である。